

## 陸前高田発

## 津波で被災の保育園再建

震災による津波によって大きな被害を受けた陸前高田市の保育園の園舎が完成し、それを祝う竣工式が行われました。再建されたのは、陸前高田市の竹駒保育園です。3月29日には園の新築を祝って関係者が集まり、除幕式や、神事が行われました。竹駒保育園は、海岸から6キロ離れた場所にありましたが、川を逆流した津波に襲われ、大きな被害を受けました。新しい園舎は、ヤマト福祉財団からの助成を受けて建設され元の場所から、400mほど内陸側の高台に移設されました。竹駒保育園は、4月4日に入園式を迎え、園児の「賑やかな笑い声」がこの新しい園舎に響きます。(3/29 ニュースエコー)



## 大船渡発

## はかま姿で入学式

大船渡市の小学校で1日、県内で最も早い入学式が行われ、新1年生が華やかなはかま姿で式に臨みました。入学式が行われたのは、大船渡市立綾里小学校です。今年の新1年生は男女合わせて17人。新入生の服装は男の子は紋付はかま、女の子は振り袖にはかま姿です。この和服での入学式は昭和40年代から始まったもので、学校が指定しているわけではありませんが、綾里地域の慣習として定着し50年近く続いています。子どもたちの晴れ姿に出席した保護者や地域の人たちも、顔をほころばせていました。(4/1 ニュースエコー)



## 復興への期待乗せ

## 三鉄・南リアス線運転再開

復興への期待を乗せ、「地域の足」が2年ぶりに再始動です。津波で被災し全線で運休していた三陸鉄道南リアス線は3日、一部区間で運転が再開されました。運転が再開されたのは三陸鉄道南リアス線、大船渡市の盛駅と吉浜駅の間、21.6キロです。津波により線路や橋脚、車両3両が被災した三陸鉄道南リアス線。一番列車はクウェートから支援を受け、新たに導入された新型車両3両です。事前の公募で当選した人やツアー客など、およそ130人が乗り込みました。復興への期待も載せた一番列車は、集まった人たちに見送られながら「地域の足」として再び走りだしました。(4/3 ニュースエコー)



## 山田町NPO問題

## 有志が議会リコール運動

山田町が事業を委託したNPO法人をめぐる問題で、住民有志の「ふるさと山田の未来を考える会」が町議会の解散請求＝リコールに向けた署名活動を始めました。3日、甲斐谷久孝代表と請求代表者の女性が、町役場で解散請求手続きを認める証明書を受け取りました。(4/3 ニュースエコー)



## 大槌発

## さんりく元気ラジオ

今週は初登場・おおつちさいがいFMのはやっちゃんさんが伝えてくれました。まずは、大槌町が被災した旧庁舎の一部保存の検討に入ったという話題です。津波の恐ろしさを後世に伝えたいという事からですが、被災した町民から様々な意見が出ている中での決断です。また、震災後全国から支援のため町内で働いていた派遣職員さんの任期が3月末で終了したという話題、そして赤浜・安渡での閉校記念序幕式の話も伝えてくれました。(4/3)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122